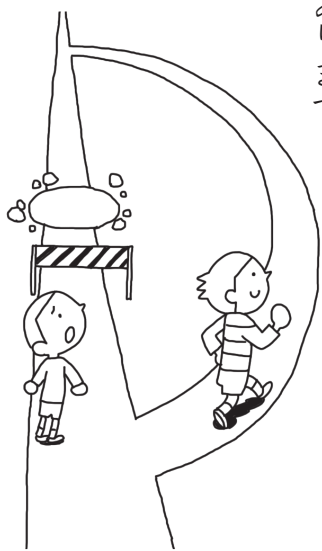


ことわざ・故事成語

「急がば回れ」という言葉を耳にしたことがあるですか。この言葉には、急いでいるときは、きけんな近道よりも、遠回りでも安全な方法を取ったほうがよいという意味があります。



このように、生きていくうえで、のちえを、短い言葉や言い回して表したものを、ことわざといえます。

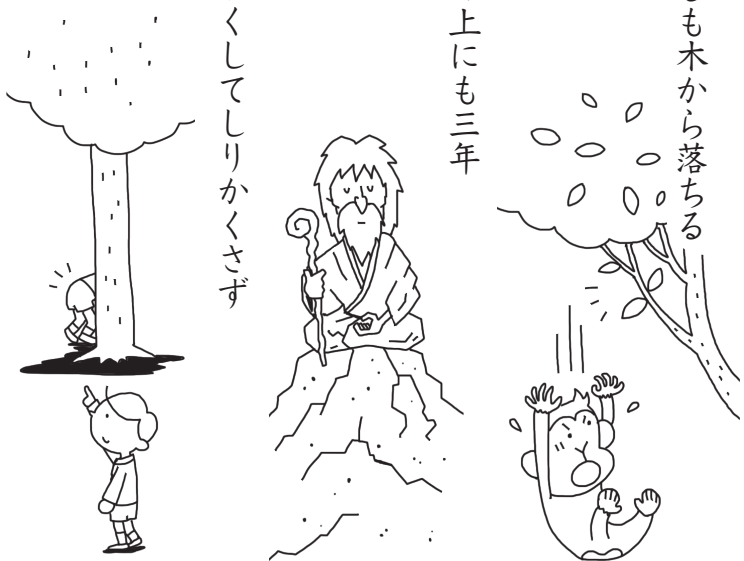
5

ことわざの本や辞典を使って、次のことわざの意味を調べてみましょう。

・さるも木から落ちる

・石の上にも三年

・頭かくしてしりかくさず



5

ことわざにいた短い言葉で、中国に伝

わる古い出来事や物語などが元になってできた言葉を、故事成語といえます。

・百聞は一見にしかず

意味 人から何度も聞くよりも、一度、自分で見たほうがよく分かるということ。

言葉の由来 ある兵が、王様から戦いに行くことを命じられた。どのような作戦を立てるかたずねられた兵は、

「百聞は一見にしかずです。遠くからでは、何回知らせを聞いても戦いの様子は分かりません。馬を走らせて、近くに行って見てきましょう。」と言った。



15

10

5

・螢雪の功

意味 苦労して学問にはげむこと。また、その成果。

言葉の由来 まずしくて、明かりをつける

ための油を買えない人が、夏には螢を集めて、その光で本を読んだ。同じように、別の

まずしい人は、冬に雪明かりで本を読んだ。後に、どちらの人も、りっぱな地位についた。



次の故事成語の意味も調べてみましょう。

・五十歩百歩

・漁夫の利

・蛇足

・矛盾

10

5

ことわざや故事成語の中には、時代に合わなくなったものや、使い方によって相手をいやな気持ちにさせるものもあります。意味をよく考えて、気をつけて使しましょう。